

第8回 日本安全運転医療学会学術集会のご案内

会長 武原 格

東京都リハビリテーション病院

1. はじめに

本学会は、障害や疾病をもつ方々が安全に交通社会へと復帰するための研究活動を行ってきた「障害者自動車運転研究会」、「運転と認知機能研究会」、「自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会」が中心となり発足させた日本安全運転・医療研究会(2017年)が基礎となっています。その後、多くの専門職の皆様のご協力のもと、5回の研究会を経て、2022年4月1日より研究会組織を学会化とし、第6回より日本安全運転医療学会学術集会となりました。そして、今回第8回学術集会を東京で開催したいと存じます。

2. 開催期日、開催場所と開催形式

2024年12月15日(日)、東京の一橋講堂にて現地開催の予定です。



第8回
日本安全運転医療学会学術集会

外出を支えるまちづくり
～安全な運転再開と移動手段の確保～

会期 2024年12月15日(日)

大会長 武原 格
(東京都リハビリテーション病院)

会場 一橋講堂
(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

大会事務局 東京都リハビリテーション病院 作業療法科 運転再開支援チーム
電話: 03-3616-8600

3. テーマ、内容

本学術集会のテーマは「外出を支えるまちづくり～安全な運転再開と移動手段の確保～」です。これまでなんらかの疾病を患っている方や、障害をもっている方が、どのようにすれば安全に交通社会に復帰できるかという点について、学術的見地から研究・発表がなされてきました。脳損傷者の運転再開については、一定の成果が得られていると思われますが、今後も研究や啓発活動が必要な状況です。その他の疾病についても、同様に研究や啓発活動が必要です。また、近年特に注目されている高齢者の運転に関しても法制度の変更に合わせて、その支援を柔軟に行うことが求められます。しかし、その一方で残念ながら様々な理由から運転を継続することが困難となってしまう方も少なくありません。運転を断念された方々の買い物など生活を維持するための交通手段をどのように確保するのか、あるいは運転を継続できなくなることで社会的に孤立してしまうのをどのようにしたら防げるのかなどが喫緊の課題として浮上してきました。運転をやめることに伴う社会的孤立は、認知機能や身体機能に悪影響を及ぼすため、本学会が取り組むべき新たな課題と考えました。

4. 予定

学術集会HPを2024年5月より公開し、演題募集、参加登録を開始しております。会員には早期参加登録により、参加費の割引を実施しております。是非、演題応募、早期参加登録をお願いします。

会員の皆様には、日頃から取り組んでいらっしゃる研究成果をご発表頂き、シンポジウムや講演などで新たな知見を得て、明日からの臨床に繋げて頂ければと思います。

当院のスタッフ一同全力で、本学術集会を盛り上げていきますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。